

地域支援だより

平成30年5月18日

第82号

秋田県立秋田きらり支援学校  
地域支援部

きらりNet



手をつなぐ

## 「手をつなぐ」



秋田きらり支援学校長  
新目 基

「手をつなぐ」この言葉は、平成22年に秋田養護学校と勝平養護学校が統合して秋田きらり支援学校が、このかがやきの丘に誕生したときに作られた本校の4つの目指す児童生徒像の一つです。盲学校(現視覚支援学校)、聾学校(現聴覚支援学校)も移転して三校が同じ建物の中にあり、さらには医療療育センターが併設されるといった画期的な試みでしたので、まさに「手をつなぐ」はキーワードだったのではないかと推察されます。私は、特別支援学校のセンター的機能においてもこの「手をつなぐ」という言葉が非常に大きな意味を持つものであるように思えます。

特別支援学校は養護学校と呼ばれていた時代から、地域のセンター的機能の充実に力を入れていました。平成19年学校教育法等が改正となり、養護学校から特別支援学校に名称が変わったと同時に、特別支援学校が地域の特別支援教育の充実に努め、幼稚園・小・中学校・高等学校等への指導的役割を果たすよう明記されました。それから早10年が過ぎ、ますます持って特別支援教育学校の地域での役割が大きくなっています。

本校の昨年度の実施状況を見ますと、就学・進学等に関する教育相談が30回、特別支援教育セミナーでの支援が16校24回、「高等学校特別支援隊」の巡回相談1回、研修会2回、幼児教室等での支援19回など、トータルでは70回を超え、前年度よりもさらに回数が増えております。

特に本校の場合は、県内唯一の肢体不自由教育並びに病弱教育の推進校でもあり、通常学級に在籍する肢体不自由及び病弱・虚弱の児童生徒、特別支援学級に在籍する児童生徒、その保護者並びに関係機関と連携を図りながら、一人一人の教育的ニーズに沿った相談及び支援ができるように、地域支援部を中心に活動を展開しています。

このセンター的機能を果たす際に忘れて成らないのが、冒頭紹介した「手をつなぐ」という言葉です。私達特別支援学校では、幼稚園・小・中学校・高等学校等に自校解決の力を高めてほしいと願っています。徐々にその力が高まっているとはいえ、課題の一つに上がっているのも現状です。ですからこそ関係者が課題解決に向け、手をつながなければならぬと考えるのです。そしてその手をつなぐための役割を担うのが、特別支援学校のセンター的機能であると考えます。

困っている人たちが、一歩ずつでも前に進むことができるよう今年度も全県の肢体不自由教育並びに病弱教育の推進にあたり、本校としてできることを精一杯取り組んでいく所存ですので、どうかお気軽に御相談ください。



# 「障害別支援ガイド」

の紹介



秋田県では、「障害別支援ガイド」を作成し、インターネット上で公開しています。本校では「肢体不自由支援ガイド」、ゆり支援学校道川分教室では「病弱教育支援ガイド」を作成していますので、是非ホームページを御覧ください。

肢体不自由支援ガイド（平成30年3月更新）  
目次

## 1 支援のポイント [\(PDF\)](#)

## 2 実態把握について [\(PDF\)](#)

- Q 実態把握の項目にはどんなものがありますか
- Q どんなことに配慮して実態把握をするとよいですか

## 3 教育課程について [\(PDF\)](#)

- Q 教育課程については、どのような配慮点や運用の例がありますか

## 4 自立活動について [\(PDF\)](#)

- Q 自立活動の目的はどんなことですか

秋田県立秋田きらり支援学校 HP より  
<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp>

## 病弱教育支援ガイド

～病気を治しながら学ぶ子どもたちのために～

### 1 病気の子どものための教育とは [\[PDF\]](#)

- (1) 病気の子どもの現状
- (2) 小・中学校における病気の子どもの教育

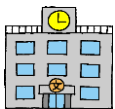
### 2 病気の子どもたちが困っていること [\[PDF\]](#)

- (1) 「病気」「入院」への不安・ストレス
- (2) 退院後に「家庭」で感じる不安・ストレス
- (3) 退院後に「学校」で感じる不安・ストレス

### 3 支援のポイントその1 [\[PDF\]](#)

- ☆病名を知っているだけでは不十分
- ☆チームで対応
- ☆プライバシーへの配慮

秋田県立ゆり支援学校道川分教室 HP より  
<http://www.yuri-s-mitikawa.akita-pref.ed.jp>



## 秋田きらり支援学校「センター的機能」の紹介

### ◇教育相談◇

- ・身体の動きや手指の使い方、病気に関することなど、学習面や生活面で心配なことについて
- ・就学、転入学、進学や医療機関との連携について

### ◇教育活動支援◇

- ・小・中学校の通常学級や特別支援学級（肢体不自由、病弱・身体虚弱）、特別支援学校への訪問による支援や情報提供
- ・心理検査の実施や分析
- ・「個別の支援計画」「個別の指導計画」作成協力

### ◇学校見学・体験学習◇

- ・学校の様子や教材・教具、医療的ケア、給食指導、授業等の見学

### ◇情報提供◇

- ・幼稚園・保育所・認定こども園、小・中・高等学校訪問による教材・教具や環境の工夫等の情報提供

### ◇研修支援◇

- ・肢体不自由教育、病弱・身体虚弱教育に関する研修会の開催及び講師



◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。

教頭 伊藤 敏博 地域支援部主任 佐藤 忠浩  
住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127  
E-mail：kirarisen@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。